

令和4年4月29日(火)に、第11回 MaSC 技術交流会“Real Exchange”「自己完結水素インフラを支える先端技術とその未来像」をオンラインにて開催し、約70名の方にご参加いただきました。

古原忠MaSCセンター長(金属材料研究所長)による開会の挨拶に続いて、本交流会のメインオーガナイザーをおつとめいただいた金属材料研究所特任教授の河野龍興先生よりイントロダクトリー・トークをいただきました。その後、産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究センター(FREA)の古谷博秀先生と、本学名誉教授の田路和幸先生より招待講演をいただき、本学未来科学技術共同研究センター特任准教授の千葉一美先生、材料科学高等研究所長の折茂慎一先生、多元物質科学研究所教授の雨澤浩史先生からそれぞれご講演をいただきました。その後、ご講演下さった先生方に加え、オーシャンライフ協会理事の比嘉良尚様、三菱地所株式会社の澤部光太郎様、みやぎ生活協同組合の大原英範様にもご登壇いただき、システム・インテグレーション社代表で産学連携機構の特任教授でもある多喜義彦先生のモデレートにより「水素インフラで描く未来像」をテーマにパネルディスカッションが行われ活発な討議がなされました。



◆「自己完結水素インフラとその進化」

河野 龍興 特任教授 (東北大学 金属材料研究所)

◆「カーボンニュートラル化に資する産総研 FREA の水素技術」

古谷 博秀 研究センター長 (産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター)

◆「HEV 中古 LiB を用いた再生可能エネルギーの安定化システムの開発」

田路 和幸 名誉教授 (東北大学)

◆「Made In 東北蓄電池によるエネルギーの有効活用」

千葉 一美 特任准教授 (東北大学 未来科学技術共同研究センター)

◆「高密度水素貯蔵を目指す材料科学」

折茂 慎一 教授 (東北大学 材料科学高等研究所 所長)

◆「燃料電池開発の現状と超高効率化に向けた新たな取り組み」

雨澤 浩史 教授 (東北大学 多元物質科学研究所)

～パネルディスカッション～

